

清

せい せい

政

58

御歌

我もまた近き齡にありしげ
心より悲しく村馬丸思ふ

萬世欽仰

大東亞戦争終結 70 年に寄せて



神道政治連盟京都府本部

本部長 林 秀 俊

本年はご承知の通り、昭和二十年八月十五日「大東亜戦争終結の詔」が發布されてより七十年の節目を迎える。

早七十年、未だ七十年、人それぞれ捉え方は違うかと思うが、いずれにせよ今日の平和があるのは、先の戦争で命を賭して祖国日本をお護り下さった英霊のお陰であることを、われわれは決して忘れてはならないことは間違いない。

私ども神道政治連盟京都府本部では、平成十三年より毎年、沖縄県宜野湾市「嘉数の丘」にある、京都府出身二、五三六柱の英霊が鎮まる「京都の塔」での慰霊祭の斎行を行っている。また、平成十六年より京都府戦歿英霊追悼慰霊祭を斎行、さらに平成十七年よりは靖國神社における京都府出身七三、〇〇〇余柱の慰霊祭を斎行し、英霊顕彰および追悼の誠を捧げてきたところである。

当本部四十周年の節目には、総勢三十九名の慰霊参拝団を結成し、平成二十五年二月十九日から二十二日にかけて中部太平洋地域の激戦地サイパン島へ渡り、ドナルドサイパン市長、中村在サイパン領事ご参列のもと、バンザイクリフに隣接する中部太平洋地域戦歿者慰霊碑前において、参加神職全員による



慰霊祭を斎行させていただくことができたことは、私の一生の記憶に残る事業であったと自負するところである。

天皇陛下におかせられては、本年の四月七日から八日にかけて、ご高齢、さらには体調万全とは言い難い御身にもかかわらず、彼の激戦地パラオ共和国のペリリュー島を御訪問あそばされ、各国全ての戦歿者に対し慰霊の

大御心を捧げられた。陛下は、常に戦歿者に対し慰霊の御心をお寄せになり、海の彼方に眠るご英霊も、さぞかしお喜びになられたことと思う次第である。

しかしながら、わが国のご英霊が眠る靖國神社へは、即位後未だ行幸あそばすことが出来ずにおられることに、さぞ御心を痛めておられるのではないかと、恐れながら拝察する次第である。総理・閣僚の参拝でさえ中韓の圧力を受け、メディアはそれを後押しをする始末、「いったいどこの国のマスコミなのか」と疑わずにはおれない。

本年靖國神社春季例大祭前日、NHKスペシャルで、昭和天皇の御製

この年のこの日にもまた靖國のみやしろのことにうれひはふかし

(昭和六十一年八月十五日)

をもとに、歌会始選者を務める岡野弘彦氏は、「うれひ」の意味をいわゆる当時の徳川侍従長の思いも重ね、A級戦犯合祀ゆえの「憂い」であると、判ったような顔をして述べていた。

本誌「清政」の前々号でも記した通り、天皇陛下の靖國神社への御参拝は、昭和五十年に行幸が行われて以来中断されており、一部

ではいわゆるA級戦犯合祀がその理由であること、未だに信じている人がいるのではないだろうか。しかしながら真実は、中曽根康弘総理大臣が靖國神社へ参拝したことに対する左派勢力扇動による中国共産党の圧力であり、憲法問題にまで発展しているのが現状である。事実、昭和五十年十一月二十日の参議院内閣委員会において発言された社会党野田哲氏の「陛下の参拝は政教分離原則に抵触するのではないか」との質問に対し、当時の吉内内閣法制局長官が「日本国憲法第二十条三項に違反する疑いあり」との答弁をして以降の事である。陛下はその翌日に靖國神社を御親

拝されて以来、靖國神社に参拝されなくなつた。政治的混乱を避けられる御心と、静かにお眠りになられるご英霊への御配慮であると畏れながら付度する次第である。

このことこそ昭和天皇の「うれひ」であつて、最後の内大臣木戸幸一日記の、昭和二十年十二月十日の記述には、「米國よりみれば犯罪人ならんもわが國に取りては功勞者なり」と陛下は仰せになられており、岡野氏の解釈はまったく意に反することであり、マスコミの常套手段である悪意のある情報操作としか思えないのである。

この春の統一地方選挙では、全国四十都道府県において自由民主党が第一党を保つことができ、いよいよ念願の憲法改正へと前進するときである。

昨年「美しい日本の憲法をつくる国民の会」が設立され、わが京都においても当本部参画のもと、来る七月五日に「美しい日本の憲法をつくる京都府民の会」が設立される。今後予定されている国民投票に向け、府民への丁寧な啓発活動に斯界挙げて取り組まなければならないと思つているところである。

大東亜戦争終結七十年をひとつの区切りとして、今こそ道義国家として相応しい自主憲法の制定を成し遂げなければならない。そして、天皇陛下が、一日も早く心置きなく靖國神社に行幸あそばされ、「萬世欽仰」末代に至るまで國を挙げて英霊の顕彰並びに追悼の誠を捧げることこそ、命を賭してわが國をお護りいただいた英霊が最もお喜びになることではないだろうか。



統一地方選挙 結果総括

幹事長 梶 道嗣

四月十二日、府議選四一・七五%、市議選四〇・九五%という過去最低の投票率で京都府議選、京都市議選が開票された。

ご承知の通り神道連京都府本部においては、府議会・市会の自民

党議員全員が神道議員連盟にご加入いただいていることから、議員連盟加入議員を全面的に応援することを決定。役員はもとより、手薄な選挙区では有志の神職にもお願いして、隙間のない協力体制を敷き今回の選挙に挑むこととした。

府議選では議席（定数六〇）の中、唯一右京区において新人議員の当選を取りこぼしたものの、無投票当選の南丹市・船井郡の一人と、自民党が支持する無所属議員の一人を含めて改選前の二十八議席を獲得し、何とか現状議席を維

持することが出来た。共産党は八幡市で初めて議席を獲得するなど、改選前の十一議席から三議席の増、民主党が五議席を失い第三党に沈んだことから共産党が第二党に躍進することとなった。

市議選（定数六十七）は、自民党が二議席減の二十一議席、共産党が四議席増の十八議席、民主党は六議席減の七議席、自民党は何とか第一党は維持できたものの残念な結果となった。中京区と東山区で新人が引退する議員の議席を継承、上京区や山科区などで現職

が議席を守る一方で、左京区では現職と新人の二名、伏見区でも現職の議員が敗れるなど、一部の選挙区で大敗を喫する結果となった。市議選においても共産党の躍進は顕著であり、伏見区では改選前の一人から三人に議席数を伸ば

し、右京区でも三議席を獲得。中京区では新人が当選し議席を回復させるなど四議席を増やし自民党に迫る十八議席を獲得した。

今回の選挙における共産党躍進の一つの要因として、冒頭にも挙げたが過去最低の投票率が大きな

要因とされている。確実な組織票を持つ公明党は議席数を減らしていないこと、左京区と伏見区において自民党の現職議員の当選は確実とされていたにも拘わらず落選したことなど、これらの結果から見てもこのことは顕著である。

神道議員連盟加入の各議員においては、神社界を取り巻く様々な諸問題に対処していただいているだけでなく、市民生活に関わる細かいところにも誠実に働いていただいている議員ばかりであり、今回の選挙での現職議員二名の落

選は大きな痛手である。

組織票を持つ政党の得票数は確実なものではあるが、有権者数の割合からして大した数ではなく、仮に投票率が高くなってもこれ以上の得票を得られることは考えにくい。

我々は、これからの府議会・市会運営が共産党の台頭によって危機的状況に陥ることがあることを多くの方々に認識していただくと共に、マスコミ等から流れる前評判を鵜呑みにせず、最後まで応援する議員の投票を呼び掛けてゆき、また一人でも多くの方に選挙に行っていただくよう働きかけることが、より良い京都を創成していく近道だと悟った選挙結果であった。

平成27年 統一地方選挙結果一覧

京都府議会議員(神道廳選)候補者			
選挙区		当落	氏名
北区	新人	当選	岸本 裕一
上京区	現職	当選	林田 洋
左京区	現職	当選	石田 宗久
中京区	現職	当選	植田 喜裕
東山区	現職	当選	荒巻 隆三
山科区	現職	当選	菅谷 寛志
下京区	現職	当選	小巻 實司
南区	現職	当選	秋田 公司
右京区	現職	当選	二之湯真士
	新人	落選	長谷川慎一
西京区	現職	当選	近藤永太郎
伏見区	現職	当選	前波 健史
	現職	当選	渡辺 邦子
区部合計	現職11／新人2		
福知山市	現職	当選	井上 重典
舞鶴市	現職	当選	池田 正義
綾部市	現職	当選	四方源太郎
宇治市・久世郡	現職	当選	村田 正治
	現職	当選	藤山ゆきこ
宮津市・与謝郡	新人	当選	本田 太郎
亀岡市	現職	当選	田中 英夫
城陽市	現職	当選	園崎 弘道
向日市	新人	当選	磯野 勝
長岡京市・乙訓郡	現職	当選	能勢 昌博
八幡市	現職	当選	中川 貴由
京田辺市・綴喜郡	現職	当選	尾形 賢
京丹後市	現職	当選	巽 昭
南丹市・船井郡	現職	当選	片山 誠治
木津川市・相楽郡	現職	当選	禰本 和久
市・郡部合計	現職13／新人2		
総計	現職24／新人4		

京都市議会議員(神道廳選)候補者			
選挙区		当落	氏名
北区	現職	当選	小林 正明
	現職	当選	山本 恵一
上京区	現職	当選	中村三之助
	現職	当選	寺田 一博
左京区	現職	落選	櫻井 泰広
	新人	当選	大西 健嗣
	新人	落選	巻野 友彦
中京区	現職	当選	津田 大三
	新人	当選	加藤 昌洋
東山区	新人	当選	平山 貴大
山科区	現職	当選	富 きくお
	現職	当選	吉井あきら
下京区	現職	当選	下村あきら
南区	現職	当選	棕田 隆知
	現職	当選	島本 京司
右京区	現職	当選	井上与一郎
	新人	当選	田中 崇則
	新人	当選	森田 守
西京区	現職	当選	田中 明秀
	現職	当選	西村 義直
伏見区	現職	当選	繁 隆夫
	現職	当選	橋村 芳和
	現職	落選	中川 一雄
	新人	当選	道端 弘之
合計	現職17／新人7		

京都府戦歿英霊追悼慰霊祭 合同時局講演会

とき…平成二十六年十一月二十一日
場所…ホテル京都ガーデンパレス



紅葉色づく京都御所を眼下に望むホテル京都ガーデンパレスにおいて、本年度第十一回目となる京都府戦歿英霊追悼慰霊祭及び、京都府神社庁および同神社総代会、神政連京都府本部共催による国民精神昂揚運動合同研修会・時局講演会が開催された。

慰霊祭は、花房副本部長齋主のもと、神社庁祭儀部会及び雅楽部会の祭員・伶人により厳肅に斎行され、また平安神宮及び八坂神社から差遣いただいた巫女により、「浦安の舞」が奉納された。

祭典終了後、引き続き式典が行われ、挨拶に立った林本部長は、「来年は戦後七十年を迎える。遺族の方々も高齢化が進んでいるが、これからは、戦後生まれの我々がその志をしっかり引き継いでいかねばならない。安倍首相のもとで進められる憲法改正によって、天皇陛下も総理大臣も、心置きなく参拝できる環境が整うことを願っている」と、力強く述べた。

次に来賓の方々の紹介があり、代表して京都市神道議員連盟の寺

田一博会長よりご挨拶をいただいた。寺田会長は「議員も親が戦後生まれという世代が多くなっている。先輩方の話をよく聞きその思いを次世代にしっかりと伝えることが出来るよう頑張つてゆきたい」と述べられた。

□ 時局講演会 □

靖國神社から

現代日本を考える

講師 國學院大学
教授 坂本是丸先生

■ 古くて新しい靖國問題

私は、父親が神社本庁講師として勤めていた関係から、神道政治連盟発足時に、理論的にも運動的にも支えとなった葦津珍彦、渋川謙一、西田廣義と言った先生方と接する機会があった。当時から、靖國神社の問題は、皇室の尊厳護持、自主憲法の制定とともに神社界が一貫して取り組むべき最も象徴的な大きな問題であったと記憶している。

講和独立以来、紀元節復活や津

地鎮祭訴訟、剣璽御動座の問題などはある程度片がついた部分もあるが、靖國神社問題だけは難しい問題を孕んでおり解決が見えない。なぜなら、明治維新以降の日本人の政治、文化、精神が集約されるようなものだからだ。

私を含めて多くの方々が一〇年以上前から学問的に靖國神社の正当性を訴え議論してきたがなかなか変わらない。状況はかえって悪くなっている。まるでモグラたたきのようなようだ。

■神職が政治に関わること

我々の年代には、大原康男先生や百地章先生などが長年こう言った問題に取り組んできたが、後継者がいない。

神政連が出来たときに、一番重きを置いたのは葦津彦先生の言う「天皇・祭祀・憲法」だった。それから時代は変化したが、問題解決は一向に進んでいない。では我々研究者は今何が出来るのか。

かつて葦津先生が仰ったように真の意味の祭政一致が必要で有

り、これこそが神道精神である。その意味で、靖國神社問題を我々はどう捉えるのか。

■A級戦犯合祀の正当性

例えば所謂「A級戦犯の分祀」をどう考えるか。これは「出来ない」と、靖國神社も我々も散々言ってきたが、政治家もジャーナリストも一向に理解しない。また法的にも倫理的にも問題はない

し、手続き上も当時厚生省引揚援護局に照会しており瑕疵は無い。日本では所謂罪人の扱いではないのだ。葦津先生は一貫してそう主張されてこられたが、その原点は、「幕末維新期の象徴とは靖國神社だ」と言うことだ。

靖國神社は、安政の大獄以来の幕末維新期殉難者一人ひとりの記名性を大事にする精神がある。靖國は、国事に殉じた御祭神を祀つ

ている。国事の最たるものが戦争であるが、決して戦死者だけを祀っているわけではない。幕末に志半ばで斃れた同志も祀っている。それを含めての靖國神社だ。所謂A級戦犯も昭和の殉難者として歴史的にも法的にも祀られることに問題は無い。

■葦津先生もう一つの思い

一方で、葦津先生は「A級戦犯を合祀するときに、もう少し考えるべきだった」という考えを持っていた。昭和五十四年、『小日本』という雑誌に「信教の自由と靖國神社 戦犯刑死者合祀の難問」という匿名の記事を掲載された。先生も色々な思いがあった。この記事には「(戦犯は)日本を敗戦に追い込むミスリードをしたかもしれない」と書いている。そういう国民感情もあると。しかしだから合祀がダメだとは言っていない。

■より深い議論が重要

外務省のホームページには、未だ村山談話そのままの見解が訂正されずに掲載されている。英語の表現はより鮮烈だ。

我々はどう言った問題も含めて、神社本庁を始め神政連、政教関係を正す会など様々な団体のなかで歴史の検証を継続的に議論・研究し、総代も含めて意識を共有しながら解決の糸口を探してゆかねばならない。(文責・堀川宏史)



沖繩「京都の塔」 戦歿者慰霊参拝団に参加して

賀茂御祖神社 権禰宣 京條寛樹

基地問題に揺れる普天間飛行場を眼下に臨む、沖繩県宜野湾市嘉数高地。この地で大東亜戦争末期の昭和二十年四月八日より十六日間、沖繩戦最大の戦闘が行われた。幾万の死傷者を出したといわれるこの戦闘には、京都出身兵が多く含まれる第六十二師団独立混成旅団が投入され、そのほとんどが故郷を見ることができずに嘉数にて尊い犠牲となったという。

現在は公園となっているこの丘に、京都の塔が建てられたのは昭和三十九年。京都府沖繩戦没者慰霊塔奉賛会が、京都府出身の沖繩戦歿者二、五三六柱の御霊の安からんことを願い、世界の恒久平和を祈念して、故郷の産である鞍馬石に堂本印象の義弟であり後に京都市文化功労者、日本芸術院会員となる三輪晁勢画伯が揮毫して建立された。ここにその碑文を引用する。

昭和二十年春沖繩島の戦いに際して、京都府下出身の
将兵二千五百三十有余の人びとが遠く郷土に想いをほ
せ、ひたすら祖国の興隆を念じつつ、ついに砲煙弾雨の
中に倒れた。また多くの沖繩住民も運命を共にされたこ



とは誠に哀惜に絶へない。とくにこの高台附近は主戦場の一部としてその戦闘は最も激烈を極めた。

星霜十九年を経て、いまこの悲しみの地にそれらの人びとの御冥福を祈るため京都府市民によって「京都の塔」が建立されるにいたった。

再び戦争の悲しみが繰り返えされることのないよう、また併せて沖繩と京都とを結ぶ文化と友好の絆がますますたかめられるよう、この塔に切なる願いをよせるものである。

昭和三十九年四月二十九日

平成二十六年十二月八日、今回で十三回目を数える神道政治連盟京都府本部主催の沖繩「京都の塔」慰霊祭は、京都出身の英霊をはじめ沖繩戦の犠牲となった方々の御霊を鎮め、報恩の誠を捧げて吉田副本部長齋主のもと厳肅に斎行された。祭典中、降りしきる大粒の雨は、あたかも英霊の御心をあらわしているようであり、胸中の琴線に触れる思いであった。

今の平和と繁栄が、戦死者の尊い犠牲の上にあるということ、先人から受け継いだ痛ましい戦争の記憶を、多くの方々と共に未来にしっかりと継いでゆくために、まさに碑文に書かれた理念の体現として、この慰霊祭と慰霊参拝の意義をあらためて認識することができた。

最後に慰霊祭の諸準備をご手配いただいている波上宮渡慶次宮司をはじめ職員の皆様、参拝団の企画運営をいただいた事務局の方々に、心より感謝申し上げます。



行齋祭靈慰悼追神祭關係府

平成27年4月16日～17日

副幹事長 倭文神社宮司 後藤重和

去る四月六日から七日にかけ、京都府神社庁との共催で、「終戦七十年靖國神社参拝旅行」が実施された。本年は、大東亜戦争終結七十年の節目であるだけに、例年より多くの皆さんに参拝してほしいという林本部長の強い思いがあり、今回は日帰りコースと一泊コースの二パターンで計画された。その結果、日帰りコース三十六名、一泊コース三十名と現地集合二十八名、合計九十四名の大参拝団が結成されたのである。

四月六日午前九時、現地集合組を除いた六十六名が京都駅新幹線中央改札口前に集合、本部長挨拶ののち、九時三十三分発のひかり号に乗車した。途中、名古屋駅で昼食用の弁当を積み込み、一路品川へと向かう。今回の慰霊祭では、参拝後に直会が予定されていたので、昼食弁当も早めにいただいた。品川でバス二台に分乗し靖國神社へ到着、慰霊祭は午後一時開式のため、さっそく参集殿に集合する。

遊就館入口
団体参拝受付

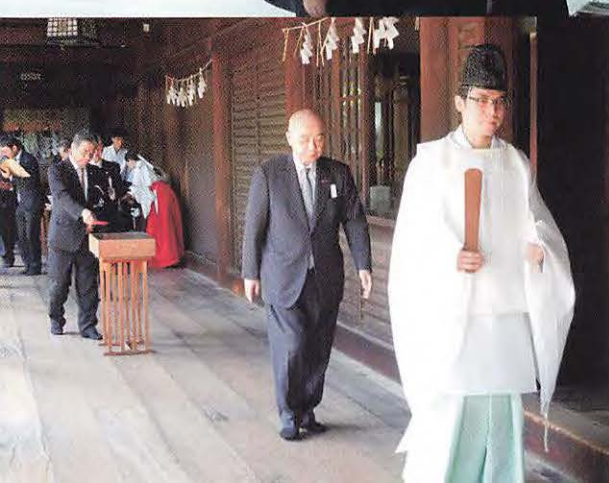
終戦70年

靖國神社参拝及び京都

併 東日本大震災被災地視察追悼行事

この日の東京は、上着を着ていると汗ばむほどの陽気に包まれ、靖國神社境内のソメイヨシノは、桜まつりの期間中にもかかわらず既に青葉が色濃くなっていた。聞けば、一昨日から昨日にかけての風雨でいつきに散ったとのこと。思わず今日の天気感謝する。境内は、平日の月曜日とは思えないほど多くの参拝者でにぎわっていた。

参集殿二階で田中恆清神社庁長、荒巻禎一総代会長、田中安比呂日本会議・京都会長と合流し、改めて靖國神社徳川宮司様より歓迎のご挨拶をいただいた。ほどなく準備が整い、手水をとり心淨めて拝殿へと向かう。さわやかな春の風が通り過ぎていく。拜殿にて国歌を奉唱し修祓をうけ、いよいよ回廊を通って本殿へ。徳川宮司様によれば、靖國神社には七万三千柱を超える京都府関係のほ御祭神がおまつりされているとのこと、本殿での慰霊祭詞奏上や玉串奉奠、黙とうの間、散華された英霊のその瞬間に思いを致し、「どうか日本の国をお守り下さい」と、心からの祈りを捧げた。



直会は、遊就館の隣に建つ靖国会館二階で、午後二時から行われた。始めに林本部長より、挨拶と共に今回の参拝団結成の経緯が紹介され、続いて田中神社庁長が「靖國神社は英霊を顕彰する施設であり、英霊の雄々しい姿を顕彰することが大切だ」との徳川宮司様の言葉を引用してご挨拶、荒巻総代会長の献杯で直会が始まった。料理内容は軽いオードブルとサンドイッチだったが、時間が時間だけに、特に一泊組は夕食のことも念頭に腹具合と相談しつつの直会である。三十分ほどで中締めとなり、田中安比呂日本会議・京都会長より「ますらおの 悲しき命つみ重ね つみ重ね守る 大和島根を」の和歌が紹介され、「今後も変わらず慰霊を捧げたい」との言葉で締めくくられた。

ここで日帰りコースと一泊コースが分かれ、日帰りコースは遊就館見学ののち京都へ向けて出発、一泊コースはバスで福島県いわき市へ向かった。

今宵の宿は、常磐炭鉱から華麗な変身を遂げた、『スパリゾート・

ハワイアンズ』である。「常磐ハワイアンセンターなら聞いたことあるが」と言ったら「それがリネームされただけだ」とのことだった。およそ三時間弱のバス旅行のあいだに、精進落しの酒をたつぷりと頭をかすめつつもおいしいお酒をいただいているうちに、あつというまにハワイアンズに到着。東北の玄関口である福島と、常夏のハワイとが明らかにミスマッチであり、不思議な感覚にとらわれる。夕食は六時半からであり、六時前に到着した我々には部屋でくつろいだり、風呂に入ったたりする余裕はない。また、夜の宴会には県神社庁いわき支部の神職の方々がご同席いただけるそうなので、スーツのまま宴会場へと入った。

宴会には、いわき支部より山名支部長以下九名の神職にご参加いただき、和やかに歓談したが、ハワイアンズの売りは何と言ってもブラガールによるポリネシアレビューである。午後八時半からのシヨ



ーを見るためには、着替えている時間も無い。いきおいダークスーツに身を固めた一団が、華やかなプールサイドの客席に散らばった。周囲は、ホテルの館内着であるアロハやムームの客であふれている。我々の服装は、福島とハワイ以上のミスマッチだったに違いないが、そんなことはお構いなく強い暖房に汗をかきながらもショーを楽しんだ。

二日目は、八時からハワイアンズの下山田元支配人より、東日本大震災発生以後のハワイアンズの対応について講話をいただいた。震災の瞬間二、五〇〇名いた客の避難、地元被災者の支援、心折れそうなスタッフのケア、崩壊した建物の復旧など、昭和四十一年創業以来最大のピンチをどう切り抜けたか、その具体的な内容に大変勉強させていただいた。続いて、バスに乗り四十分ほど常磐自動車道を北上する。路肩に放射能の線量計が見え、事故を起こした原発に近づいていることを実感する。

目的地であるいわき市久之浜の諏訪神社は、津波で社務所一階が水没する被害を受けた由。バスを降りて鳥居を背に数百メートル先の海を見渡すと、堤防まではほぼ壊滅状態で荒涼とした土地のみが続き、ところどころに重機の姿が見える。この度、当地域復興の精神的よりどころとなっている同神社に、北野天満宮より紅梅が献木されることになり、正式参拝と共に目録の贈呈式が拝殿にて執り行われた。この梅は、北野天満宮の橘宮司様によって『御霊鎮めの紅梅』と名付けられ、参拝後に丹治福島県神社庁長と諏訪神社高木宮司、林本部長により植樹式が行われた。折しも雨が降り始め、今回の旅行中この時だけ傘をさすことになったのは、梅に対する神々の恵みの雨だったのかも知れない。その後、山名支部長のご案内でバス車中から被災地の現状を視察させていただき、福島を後にした。

今回の靖國神社参拝旅行は終戦七十年記念らしく、様々なことを考えさせられる充実した旅行となった。



京都府議会神道議員連盟 京都市神道議員連盟

会員の ご紹介



京都府議会
能勢昌博先生

日頃より、神道政治連盟の関係者の皆様には、日本の文化・伝統を正しく伝えることを目的とし、様々な活動に取り組まれていますことに心より敬意を表し、感謝申し上げます。

さて、三月に東京都渋谷区では、同性カップルに「結婚に相当する関係」を認める証明書を発行することを盛り込んだ条例案が議会に提出され、日本社会の家族制度と伝統や教育を破壊する条例は許さないと、様々な方面から強い反発が出ているところであります。

自由と権利ばかりを主張し、義務と責任を重んじない今の現状に憂いを感じられる方も多いと存じますが、神道を中心とした精神的な価値の大切さを伝えていくことが、ますます重要になってきます。

自宅に神棚のない家庭が増えておりますが、まずは地域の氏神様との関わりを深める為に、神社で開催される地域の行事やお祭りに参加していただき、氏神様の存在を再確認することから始めていくことが必要ではないでしょうか。

私も、微力ながら地元神社の氏子青年部として、若年層の会員増強に取り組んでおります。

これからも世界から尊敬される日本の伝統文化を継承できるよう教育問題にも積極的に取り組んで参ります。



京都市会
吉井あきら先生

神道政治連盟京都府本部の皆様におかれましては、世界に誇る日本人の文化・伝統を後世に正しく伝えるため日々ご活躍いただき、心から感謝申し上げますとともに、私自身、戦後おろそかにされてきた精神的な価値の大切さを訴え、私たちが生まれこの国に自信と誇りを取り戻す活動のため、邁進して参る決意を新たにしております。

さて、先般世界文化遺産の賀茂御祖神社様の境内におけるマンション建設の話がございました。我々京都市神道議員連盟といたしましても、この問題は単に景観の問題ではなく、社会等の皆様方がおかれている現状を踏まえ、より根本的な問題解決を図るべく国等の財政措置が必要であると訴え、その意見書を国へ提出いたしました。

我々議員は、こうした現状を幅広く市民の皆様にお伝えしながら行政を動かし、京都が世界に誇る文化をしっかりと次世代に引き継がなければならないと考えております。

私事で恐縮ですが、この度市会運営委員長を拝命し、日々京都市会の運営に尽力しております。改選後は交渉会派も増え、その運営は予断を許さない状況にありますが、最大会派としてしっかりと運営して参る決意でございますので、今後ともご指導のほど、よろしくお願いいたします。

平成 26 年

- 12月1日 神道政治連盟近畿地区協議会 本部長以下2名出席〈於 大阪府神社庁〉
 " 洛西支部神宮大麻曆頒布始奉告祭並び総代会総会 花房副本部長出席〈於 松尾大社〉
 12月8・9日 沖繩京都の塔慰霊参拝団結成〈於 沖繩県 嘉数高台〉
 12月10日 神社庁教化委員会並び関係団体代表者懇話会 林本部長出席〈於 京都府神社会館〉
 12月19日 京都府本部役員会 林本部長以下23名〈於 ホテルグランヴィア京都〉
 12月23日 天長節奉祝日本会議京都式典 70名〈於 リーガロイヤルホテル京都〉

平成 27 年

- 1月9日 安倍首相靖國神社参拝訴訟（大阪）第3回口頭弁論〈於 大阪地方裁判所〉
 1月20日 宮崎義敬神政連常任顧問出版記念祝賀会 林〈於 明治記念館〉
 1月24日 京都府神社庁新年神職総会関係団体助成金交付式 林本部長出席〈於 京都府神社会館〉
 1月30日 京都の躰を語る女性の会提言者会議 6名出席〈於 京都府神社会館〉
 1月31日 寺田一博市会議員を囲む会 本部長・梶幹事長〈於 ANA クラウンプラザホテル〉
 2月5日 神道政治連盟兵庫県本部時局講演会 花房副本部長出席〈於 粟東芸術文化会館さきら〉
 2月11日 建国記念の日奉祝京都式典 関係者出席〈於 京都府神社会館〉
 2月12・13日 お伊勢さん初まり 林本部長出席〈於 神宮〉
 2月18日 京都府神社庁祈年祭 林本部長参列〈於 京都府神社会館神殿〉
 2月21日 渡辺邦子京都府議会議員を囲む会 林本部長〈於 ウェスティン都ホテル〉
 2月22日 桜井泰広市会議員を囲む会 林本部長出席〈於 グランドプリンスホテル京都〉
 2月23日 安倍首相靖國神社参拝訴訟（大阪）第4回口頭弁論〈於 大阪地方裁判所〉
 2月28日 神道政治連盟兵庫県本部時局講演会 本部長・事務局長出席〈於 楠公会館〉
 3月3日 京都府本部役員会 林本部長以下22名〈於 京都府神社会館〉
 3月14日 西田昌司参議院議員政経パーティー 5名出席〈於 京都ブライトンホテル〉
 " 自民党京都府連合会統一地方選挙総決起大会 本部長以下関係者出席〈於 シルクホール〉
 3月19日 美しい日本をつくる国民の会総会 本部長・事務局長出席〈於 衆議院第一会館〉
 3月23日 神道政治連盟第13回時局対策連絡会議 田中青年隊員・中森事務局員〈於 皇居・神社本庁〉
 ~ 27日
 3月30日 京都府神社総代会総会 林本部長出席〈於 ホテルグランヴィア京都〉
 3月31日 府議会並び市会議連役員選挙事務所訪問 林本部長・中森事務局員〈於 各選挙事務所〉
 4月3日 第18回統一地方選挙（前半）告示 府議会候補者28名、市会議員候補24名推薦
 4月6・7日 靖國神社慰霊参拝団並びいわき市震災視察 92名参列出席〈於 靖國神社・いわき市〉
 4月10日 安倍首相靖國神社参拝訴訟（大阪）第5回口頭弁論〈於 大阪地方裁判所〉
 4月12日 第18回統一地方選挙（前半）投開票 府議会議員27名、市会議員21名当選
 4月17日 京都府神社庁例祭 林本部長〈於 京都府神社会館〉
 " 神社庁並び総代会関係者合同会議 林本部長〈於 京都府神社会館〉
 4月19日 第18回統一地方選挙（後半）告示 京田辺市長候補者推薦
 4月22・23日 神道政治連盟綱紀委員会、同役員会 林本部長出席〈於 神社本庁〉
 4月26日 第18回統一地方選挙（後半）投開票 石井京田辺市長当選
 5月6日 京都府神社洛東支部総代会総会 林本部長出席〈於 魚善〉
 5月12日 清和政策研究会との懇親の集い 林本部長出席〈於 東京プリンスホテル〉
 5月13日 神政連三役会〈於 糸仙〉
 5月27日 京都の躰を語る女性の会例会〈於 貴船神社〉
 6月3日 神道政治連盟役員会 林本部長出席〈於 神社本庁〉
 " 神道政治連盟本部長事務局長連絡会 林本部長 中嶋事務局長出席〈於 神社本庁〉
 " 神道政治連盟結成 45周年記念式典 林本部長以下4名出席〈於 ホテルニューオオタニ〉
 " 神道政治連盟・国会議員懇談会結成 45周年記念合同祝賀会 林本部長以下4名出席〈於 同上〉
 6月4日 神道政治連盟中央委員会 林本部長以下5名出席〈於 神社本庁〉
 6月5日 西田昌司参議院議員国政報告会 林本部長以下5名出席〈於 シルクホール〉
 6月9日 安倍首相靖國神社参拝訴訟（大阪）第6回口頭弁論〈於 大阪地方裁判所〉
 6月15日 京都府本部綱紀並び財務合同委員会〈於 京都府神社会館〉
 " 京都府本部役員会〈於 京都府神社会館〉
 6月20日 船井支部神社総代会総会〈於 和知ふれあいセンター〉
 6月24日 第29回会員大会開催〈於 リーガロイヤルホテル京都〉
 " 清政第58号発行

御製を拝して

我もまた近き齢にありしかば沁みて悲しく対馬丸思ふ

大東亜戦争末期の昭和十九年八月、私たちが一昨年慰霊に訪れたサイパン島が、米軍の激しい攻撃によって陥落しました。その後政府は、沖縄知事に対し本土または台湾へ非戦闘員である老人や婦女児童を疎開させるよう命令しました。そして昭和十九年八月二十日、一般人及び那覇国民学校の児童、その介添者合わせて一、六六一名と乗組員八六名を載せた学童疎開船「対馬丸」は、那覇港を出港しましたが、その二日後の二十二日、対馬丸は鹿児島県石島沖で米潜水艦の攻撃を受けて沈没、学童七八〇人を含む一、四八五人が命を失いました。攻撃は夜の十時過ぎ、その多くが就寝していたため脱出出来ずに船倉に取り残されました。また接近中だった台風の影響で海は荒れており、運良く脱出した人の多くも高波に流され助かりませんでした。天皇皇后両陛下におかせられては、昨年六月沖縄県に行幸啓され「対馬丸記念館」を御訪問になり、生存者や遺族の方々と御懇談あそばされました。この皇后陛下の御歌は、対馬丸の犠牲者の多くが、両陛下と同じ年代の子どもたちであったことをとりわけ悲しくお感じになり、犠牲者を偲び悼まれた御心をお詠みになったものと、畏れながら拝察いたします。

編集後記

選挙は投票率によって大きく左右される。一般の統一地方選では軒並み過去最低を記録。一方「大阪都構想」の賛否を問う住民投票では六六・八三%と過去十年で最高の投票率を記録した。しかし若者の投票率の低さは否めない。総務省の統計では、昭和四十四年衆院総選挙の二十歳代の投票率は平均を九%下回り最低。それ以降最低を続けている。憲法改正に向けて「美しい日本の憲法をつくる国民の会」が発足し着実に歩みを進め、国政では選挙権年齢も引き下げが決まりそうだ。若者の投票行動をいかに促すか、若者にいかに訴えかけるか、これからの日本を担う若者が本当の意味で“未来”を握っている。(神)



神道政治連盟京都府本部会報

清政 第58号

発行日：平成27年6月24日
発行所：神道政治連盟京都府本部
〒616-0022
京都市西京区嵐山朝月町68-8
電話075-863-6677
編集協力：テンセイ・コモンズ